

---

---

～ 「人手が足りない!!」「職場が回らない!!」を部署内で解決する ～

# 会議・活動の削減および業務の費用対効果検証による人手不足解決方法

会議・活動および間接業務の費用対効果検証 → 抜本的見直し → 人手不足解決!!

---

---

【受講対象者】 間接員の人手不足に悩む部課長・主任クラス( 部署不問 )  
経理部門の部課長・主任クラス

## 【受講のおすすめ】

増える一方の会議・委員会・改善改革活動にマンパワーを奪われ、肝心の本来業務の遂行が困難となってきています。にもかかわらず間接員は増えるどころかむしろ減らされており、仕事量とマンパワーのアンマッチは深刻な問題として管理職・担当者を悩ませています。

そのような事態の打開策として、当セミナーでは①会議・活動の削減方法 ②個別業務毎の投入金額の「見える化」による費用対効果検証方法をお教えします。一見無関係に思える①②ですが、その根底にはコスト意識( 費用対効果 )があります。

併せてお教えする③管理職の労働生産性向上方法 ④自律型人材育成方法 ⑤活動事務局育成方法も実施すれば、労働生産性向上により余剰人員が捻出でき、人手不足問題は自部署内で解決できます。

講義では、会議削減だけで労働生産性を 6%向上させた事例紹介を交えつつ、御社でも実施できるよう分かりやすく説明します。費用が掛からず効果は絶大かつ即効性に優れる当手法は、人手不足問題解決の決め手です。その真偽のほどは、当日あなた自身の目でご確認ください。

## 【講師】

(株)トータルマネジメントシステム研究所 代表取締役 角川 真也 ( つのかわ まさや )

中堅部材メーカーにおいて社内コンサルとして間接業務の「見える化」「最小化( ムダ取り+効率化 )」「標準化」手法を全社展開、生産性を 300%向上させ会社倒産の危機を救う。独立後は『組織マネジメントシステム( ERP )』自社構築による間接業務の生産性向上手法普及に専従。数値データ(時間・金額)を駆使した科学的マネジメント手法による組織パフォーマンス向上を得意とする(「TMS 研」で HP 検索可)。セミナー開催実績：84 回/11 年、受講者累計：922 名、受講者評価：平均 77.8 点、著書『R&D 部門の働き方改革とその進め方』( 技術情報協会刊・共著 )

## 【プログラム】

1. **会議・委員会・改善改革活動の削減方法**
  - 1) どうしてこんなに増えたのか?( 事例紹介 )
  - 2) なぜ削減しなければならないのか?
  - 3) 実態を投入金額で「見える化」する( 演習あり )
  - 4) 費用対効果を検証する
  - 5) 削減方法( 事例紹介あり )
  - 6) リバウンド防止方法
  - 7) 会議の生産性向上方法
  
2. **会議・委員会・改善改革活動事務局の育成方法**
  - 1) 事務局の悩み・不平・不満とは?
  - 2) 事務局に『コスト意識』を定着させる
  - 3) 事務局の育成方法
  - 4) 『事務局会議』開催による相互啓発方法
  
3. **間接業務の費用対効果検証方法**
  - 1) 投入「時間」から「金額」へ
  - 2) 投入金額算出方法
  - 3) 費用対効果の検証方法およびその効果
  
4. **管理職の生産性向上方法**
  - 1) 管理職の実態
  - 2) 管理職の職務の明確化・シンプル化
  - 3) ストレスフリーの部下管理方法
  
5. **自律型人財の育成方法**
  - 1) 『コスト意識』徹底による人財育成方法
  - 2) 「Time is Money」意識の即時徹底方法
  - 3) 部下の「考え」「行動」「習慣」が変わる
  - 4) 投資と回収( 費用対効果 )による経営感覚の醸成
  
6. **質疑応答**